

未来の印刷

東京都 六年 大木 泰雅

ぼくが、未来の印刷について考えているのは、夢のようなことですが、例えば空に印刷が出来たりした方がいいなと思います。

雨が降った後に空に虹がかかることがあります。雨が、なかなか虹を見ることは出来なけれど、空にでも印刷が出来るとなれば、見たい時にいつでも誰でもが、虹を見ること

が出来るとなります。

それだけではなく、空に印刷が出来れば大事な連絡も空に印刷してみんなに伝えることも出来ます。病院に入院している人は、動物園や水族館などには行かれないので、空に印刷が出来るとなれば、病院の窓からでも空に映った動物を見ることが出来ます。そんな人達のためにも、そんなことが出来る印刷の技術が発達すればいいなと思います。

そして、ぼくがもう一つ出来た方がいいと思ふのは、印刷するだけでもモコモコペンで書いたように、印刷したものが浮き出たりすると楽しいのになと思います。

世の中は日々、進化しているのです。印刷の技術もどんどん変化して行くので、いつかぼくが考えているように、空に印刷が出来たり、モコモコペンで書いたように印刷しただけで印刷が浮きあがること出来る日がくると思っています。ぼくは、そんな夢のような印刷が見られる日が、早く来ることを願っています。たくさんの方々の笑顔も、ぼくも楽しみにしています。